

ことば・きこえの教室だより

ことば・きこえの教室は、ことばやきこえに心配な点があるお子さんたちが通っている教室です。一人ひとりが伸び伸びと学習し成長できるよう、個に応じた指導や支援を行っています。

ことば・きこえの教室では、

- ・ 発音の誤り（「カラス」が「タラス」、「魚」が「シャカナ」、こもった発音になる など）を改善するための指導
- ・ 吃音（ことばを繰り返したり、引き伸ばしたり、つもらせたりする）についての指導
- ・ 言語力（ことばを理解したり表現したりすることや、読み書きが苦手 など）についての指導
- ・ きこえ（聞こえにくいことがあり話を聞き逃したり聞き返したりする など）に関する指導 など、

個に応じた個別学習を行っています。

上記に関するような心配があればご相談ください。

早期に適切な支援を受けることが大切です。

ことば・きこえの教室Q & A

学習を行う中で、保護者や在籍校担任より、これまでにご質問いただいたものをもとに、ご質問と答えの例を紹介したいと思います。

発音についてのQ & Aの例

Q：発音が誤っている子どもへの対応で、気を付けることはありますか？

A：言い直しをさせたり、誤りを指摘したりせず、話の内容に耳を傾け、話したい気持ちを受け止めてください。

聞き手が正しい発音で返すこともあります。（例「タラスがね」と言ったことに対し「カラスがどうしたの？」など）

※ことば・きこえの教室では、安心して話せる環境を整えながら、発音の改善を目指す指導を行っています。



吃音についてのQ & Aの例

Q：吃音が出たときに、どのように対応すればよいですか？

A：指摘をせず、話の内容に耳を傾け、子どもが話し終わるまで、最後まで話を聞いてください。吃音を理由に何かをあきらめることのないように見守ります。

※ことば・きこえの教室では、話しやすくなる環境を整えながら、吃音についての指導を行っています。



言語力についてのQ & Aの例

Q：「今日の学校はどうだった？」と話しかけても「ふつう」「わからない」など、やりとりが続かないのですが・・・

A：漠然とした質問には、何をどう答えたらよいのかわからない子もいます。

「今日は〇〇くんと遊んだの？」「鬼ごっこをしたの？」のように、イエス・ノーで答えられる質問や、「かくれんぼと鬼ごっこ、どちらで遊んだの？」など選択肢があると答えやすくなることが多いです。

※ことば・きこえの教室では、意欲を大切にしながら、話す・聞く・読む・書くことに関する指導を行っています。

きこえについてのQ & Aの例

Q：教室の座席は、どのあたりが一番聞こえやすいですか？

A：話し手に近いことが第一条件ですが、以下のことも参考にしてください。



- ・周囲の様子が見えやすいようにする（前から2、3列目など）。
- ・左右の耳で聴力に差がある場合は、聞こえやすい耳を音源の近くにする。
- ・騒音から離す（常時音が出る物、エアーポンプなど）。

※ことば・きこえの教室では、きこえの環境を整えながら、聴力の管理やきこえに関する指導を行っています。

※八幡小学校には「きこえの教室」がないので、八幡小学校が通級学区できこえに心配があるお子さんは、赤羽小学校の「きこえの教室」が通級教室になります。

<ことば・きこえの教室の通級について>

- * 週に1～2回、決まった曜日に、1時間または2時間（45分または90分）、ことば・きこえの教室に通い、担当者と一対一で学習する個別指導です。
- * ことば・きこえの教室に通う際は、保護者の方や代理の方の付き添いが原則必要です。
- * 学校の授業を抜ける場合は、遅刻や早退の扱いにはなりません。

<申込方法>

- (1) 担任の先生に通級に関してご相談ください。在籍校で通級について検討した後、在籍校が教育総合相談センターへ申請を提出します。
 - * 申請後、ことば・きこえの教室でお子さんと保護者の方との面談を行い、区の判定委員会で審議されます。
- (2) 幼児（年長）については、例年、10月から相談を受け付けています。保護者は、園へ相談し申し込むことになっています。
 - * 申請後は、(1)と同様です。
 - * 入級となった場合でも、通級による指導は小学校に入学してからになります。

<ことば・きこえの教室>

八幡小学校 「ことばの教室」 〒115-0053 北区赤羽台 3-18-5 電話：5963-4521 Fax：5963-4521	赤羽小学校 「ことば・きこえの教室」 〒115-0045 北区赤羽 1-24-6 電話：3901-6510・3903-7061 Fax：3901-6510
--	---

